

## 第30回全日本ライフセービング・プール競技選手権大会

## シミュレーテッド・エマージェンシー・レスポンス競技（SERC）状況設定

## 1. SERC とは

1 チーム4名の競技者が、指定された制限時間内でいかに適切な救助ができるかを競う採点競技です。採点は、それぞれの溺者・傷病者の救助をみる採点員と全体の状況を見る主任採点員によって行われます。

<注意>

観覧席からなんらかのサインを出した場合、あなたのチームが失格になりますのでご注意ください。

## 2. 状況設定

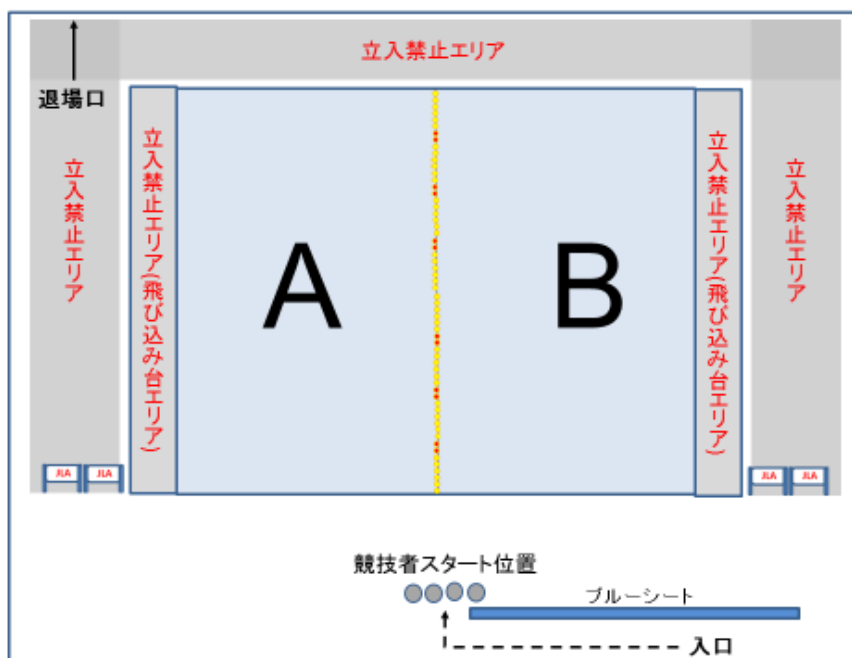
競技者は、競技開始前に以下の                     分のみ知らされています。

ここは、都内にある海浜公園です。

公園内には遊泳客がいて、いくつかの事故が起っています。

救急車は呼んでおらず、海浜公園内には AED は設置されていません。

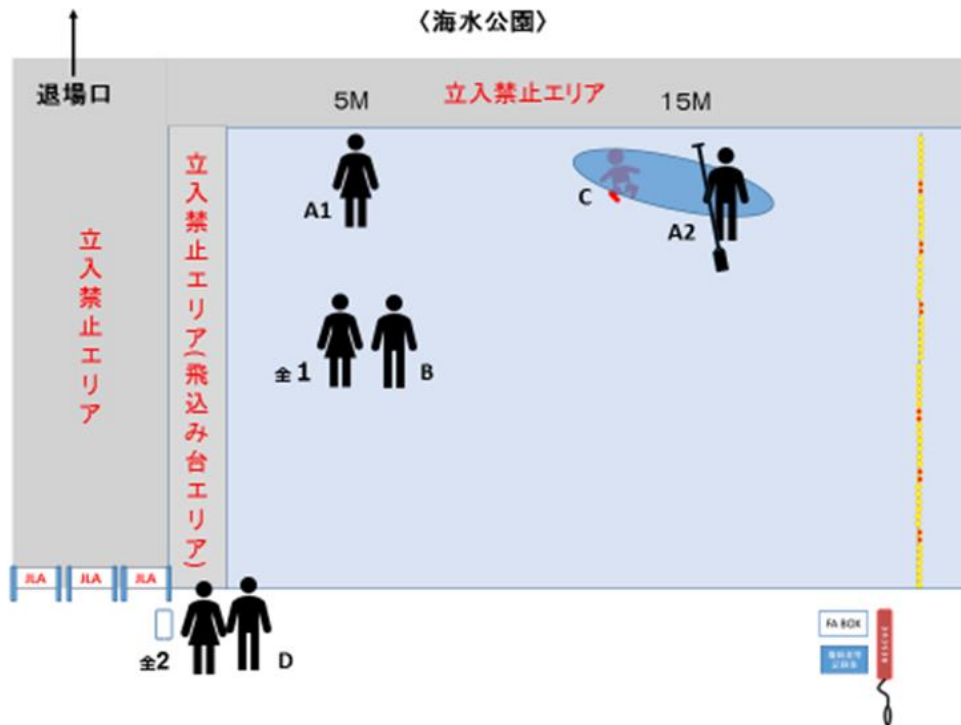
90 秒以内で救助を行ってください。



現場には下記の救助器材と物品があります。

- ① レスキューチューブ 1本
- ② FA BOX (三角巾、傷病者等記録票、ハサミ、感染予防用ゴム手袋、ガーゼ) 1個

- ・額に「X」の印がついている場合は、意識なし、呼吸なし、頸椎（髄）損傷なしの状態とします。
- ・スタートの時点で競技者は何も持っていない状況です。
- ・立入禁止エリアで溺者をプールサイドにつかまらせても水中と判断します。



### 〈詳細〉

役者	設定	状況詳細
A1	一般客(大人)	泳げない人(軽溺)：B、全1と友達。
A2	一般客(大人)	泳げない人(軽溺)：Cの父親。子供とSUPに乗っていて落下。
B	一般客(大人)	泳ぎが下手な人：A1、全1と友達。立ち泳ぎをしながら「大丈夫？」とA1に声を掛けている。
C	一般客(小児)	意識不明者/呼吸停止者：A2の父とSUPに乗っていたが落下し、SUPの下で重溺。
D	一般客(大人)	傷病者：全2と友達。前腕を負傷して出血している。
全1	一般客(大人)	遊泳者：A1、Bと友達。立ち泳ぎをしながら「大丈夫？」とA1に声を掛けている。
全2	一般客(大人)	遊泳者：Dの友達。Dに「大丈夫？」と声を掛けている。携帯電話を持っている。

※図は、Aエリアの例です。Bエリアは、これと対称的なレイアウトとなります。

### 〈採点〉

SERCの採点は、それぞれの溺者・傷病者に対する処置とともに優先順位が評価されます。

溺者・傷病者に対する救助の優先順位：

- ① 泳力の弱い人、自力で移動できる人
- ② 危険の迫った人（泳げない人、ケガをした泳者）
- ③ 継続的なケアが必要な人（意識がない人、呼吸がない人、頸椎の損傷が疑わしい人）

※SERCに関する詳細は下記ご参照ください。

特定非営利活動法人 日本ライフセービング協会 HP <http://www.jla.gr.jp/>